



高校 NEWS

— 高校生の「イマ」を紹介します！ —

高梁城南高校で「株式会社」が誕生しました！

私たち高梁城南高校では、2025年夏、地域と連携して「JONAN ホールディングス株式会社」を設立しました。ものづくり系の専門高校が自ら株式会社を立ち上げるのは、全国でもめずらしい取り組みです。

この会社は、生徒が考えた企画をビジネス化し、実際に商品やサービスとして展開できる仕組みになっています。各学科の学びを活かした提案や、地域の皆さんからの依頼を受けて仕事を進めることも



あり、学校の中に“リアルな社会”が入ってきたような感覚があります。

生徒は経営企画、広報、営業などの部署に分かれて会社運営を担っており、私も営業部として企業を訪問し、活動資金の支援をお願いしたり、JONAN ホールディングスの取り組みを直接PRしたりしています。

学校の中に“会社”があることで、自分のやってみたいことを本気で実現できる環境になってきました。「好き」や「得意」を、誰かの役に立つかたちに。そんな挑戦が、高梁城南高校ではすでに始まっています。



環境科学科 2年
たかはし あすは
高原 明日葉さん

こどもまんなか通信

社会教育課 ☎21-1514

子どもの夢を育む体験事業

たかはし広がる子どもの夢事業実行委員会では、子どもたちの職業への興味・関心や将来について考えるきっかけをつくることを目的に、子どもたちが実際の仕事を体験する「わくわくワーク」を実施しています。

この事業は、市内の事業者企画内容の提案や当日の運営にご協力いただき、まち全体で子どもたちを育む環境づくりを進めています。

実施した事業の一部を紹介します。

- 放送局のおしごと体験（提案：㈱吉備ケーブルテレビ）
- バリスタのおしごと体験
（提案：スターバックスコーヒー 蔦屋書店高梁市図書館店）
- トマト農家のおしごと体験（提案：黒岩トマト農園）

わくわくワークの他にも子どもたちの成長を支援する事業を多く実施しています。参加者募集や実施状況を社会教育課公式Instagramに投稿していますので、ぜひフォローしてください。



成羽病院通信

成羽病院 ☎42-3111

骨密度検査について

病院・クリニックでは、いろいろな検査が行われています。今回は、その中でも骨密度検査についてお話します。昨今、日本は長寿になったことで高齢者が増え骨粗鬆症の患者数も増加傾向にあります。腰椎（腰の骨）の圧迫骨折（いつの間にか骨折）や大腿骨近位部（太ももの付け根）骨折をすることで、老後の生活の低下を招き、寝たきりや死亡の原因につながります。骨密度検査の主な目的は、骨粗鬆症の診断や治療効果の判定、骨量減少の早期発見です。骨密度を測定することで骨の強さを判定し、将来的な骨折リスクを評価・低減することを目指します。

骨密度検査とは

骨に含まれるカルシウムなどのミネラルの量を測ることで、骨の頑丈さを調べる検査です。検査方法は施設によって異なりますが、X線や超音波などを用いて行います。骨密度が低下した状態になると、骨折しやすくなります。背骨（脊椎）がつぶれたり、変形したりすると背中の痛みも現れ寝たきりの原因

放射線室長

にもなります。

腰椎、大腿骨近位などを用いて測定します。また検査時間は10～15分程度と比較的短時間で済みます。

検査当日の注意点

測定範囲に金属・プラスチック・湿布・カイロなどがある場合、撮影部位によっては外していただくこともあります。胃の検診などでバリウムを飲んだりしていると診断の妨げになるのでご注意ください。また、腰椎や股関節など検査部位に金属が入っている場合や妊娠中、または可能性のある人は、必ずスタッフにお知らせください。

高齢者になられたら定期的に最寄りの病院・クリニックなどで骨密度を測ることをお勧めします。早期に予防して健康に過ごしましょう。

骨密度検査について気になることがありましたら病院・クリニックなどのスタッフにお尋ねください。